

## 知事コメント

令和3年7月12日(月)

### 【18歳未満の方へのモデルナ社製ワクチン接種事案について】

昨日15時50分頃、宜野湾コンベンションセンター広域ワクチン接種センターにおいて、18歳に達しない方(17歳11ヶ月)へのモデルナ社製ワクチンを接種する事案が発生してしまいました。

また、この方は国外で1ヶ月前にファイザー社製ワクチンを接種されていたことも確認されています。

接種後の本人の容態についてですが、接種会場において変化はみられませんでした。

このため、接種会場に駐在する医師の判断等において、同伴されていた保護者の方に自宅における経過観察を行っていくことでした承を得ています。

本日の経過観察として、保護者に確認しましたところ、38.5度の発熱があり、熱冷ましを服用して自宅で静養されているとのことでした。引き続き、経過観察を図ってまいります。

このような事案が発生した経緯としましては、接種会場における本人確認(氏名、年齢、住所)と接種歴確認に不備があったと思われ、事案発生直後に確認手続きの徹底を図ったところでした。

今後は、これまでの目視による年齢確認に加え、読み上げ確認を行うなどの改善に取り組んでまいります。

今回の事案につきましては、ご本人とご家族へ誤った接種を行ったこと、そして、県民の皆様に対し、ワクチン接種に不安な思いをさせたことにつきましては、深くお詫び申し上げます。

今後は安心して、広域接種センターそしてワクチンの接種などをしっかりとご利用していただけるよう、再発防止に努めてまいります。

政府において決定されました沖縄県における緊急事態宣言の延長期間が、本日（7/12）より、始まります。

今回の緊急事態宣言期間の延長に際し、県としましては、国へまん延防止等重点措置区域への移行について検討頂けるよう配慮をお願いしておりましたが、国においては、6週間という長期の延長が決定されました。私も県民の皆様と同様に非常に厳しいと感じております。

しかしながら、5月大型連休後の急激な感染拡大を乗り越え、10万人あたりの新規感染者数の全国最下位の状況を脱しましたのは、まさしく沖縄県民の努力の賜物だと思います。県としては、この感染状況改善の傾向を継続し、国が解除の条件として示す「医療提供体制への負荷の改善」に力を尽くし、措置の早期解除を県民と共に目指したい参りたいと思います。

県民の皆様の努力を緊急事態措置の解除という形で結実していくためには、新規感染者数を引き続き抑え込んでいくことや、リバウンドを起こさないこと、感染力の強いデルタ株などの移入や置き換わりに注意することが大切であると考えています。

特に、昨年7月に感染拡大を経験したことから、県としては、7月の連休に端を発する感染リスクについて強く警戒感をもっています。県としましては、県民の皆様に、特に3つのことに気を付けていただきたいと考えております。

まず、ひとつ目に、7月23日から始まりますオリンピックについては、イベント等での感染対策の徹底をお願いいたします。大勢で集まることは絶対に避けていただき、人と人との間隔を十分に確保した上、自宅でのテレビ観戦等でお楽しみいただけますよう宜しくお願い致します。

ふたつ目に、来る連休について注意をお願い致します。感染力の強いデルタ株について警戒が必要なことから、特に7月22日からの連休では、他の都道府県との往来の自粛をしていただき、ビーチパーティーや会食、会合の予定を組まず、特に県外の方との交流については注意して頂きますようお願い致します。

県への帰省を考えていらっしゃる方、県外にいらっしゃる県民の方も一丸となって、この連休中の感染を抑える為に、何卒不要不急の都道府県間の移動について、帰省などについてはお控え頂けますよう宜しくお願い致します。

3つ目に、来県を予定していらっしゃる皆様へお願い致します。今、沖縄県は県民一丸となって、感染を抑え込んでおります。緊急事態宣言中の来沖は自粛をしてください。特に感染拡大地域からの渡航については強い自粛を求めたいと思います。宜しくお願い致します。

ワクチン接種についてですが、県としまして、先ほどの発生事案について重く受け止め、再発防止にもしっかりと取り組んでまいります。

ワクチンは国の基本的対処方針においても発症予防、重症化予防とともに、感染予防効果について示唆する報告についても示されております。感染症対策の切り札であることから、県としては、引き続きワクチン接種の加速化について取り組んでまいります。

その為に、昨日（7/11）全国知事会を通じ、政府に向けてワクチンの必要量の確保についても求めたところです。市町村における接種が加速化するよう支援するとともに、県広域接種センターでワクチン接種を補完して行ってまいります。

長期にわたるコロナ禍において、これまでの県民の皆様から頂いているご協力に本当に心から感謝いたします。そして県民の皆様のこの取り組みが新規感染者の減少という成果に結びついていることは明らかであり、この事にも改めて感謝を申し上げたいと思います。

7月は様々なイベント等があつて、感染リスクを抑え込むのも難しい時期ですが、県民皆様の、そして県外皆様のお力添えがあれば、そのような時期においても感染を抑え込み緊急事態宣言の段階から早期に脱することができると思っています。県民の皆様、何卒一緒に頑張っていきましょう。どうぞ宜しくお願い致します。